



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2016 **2**



1月9日(土)、兵庫県民会館(神戸市中央区)において、「第11回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催。会員生協・団体の役職員46名が参加したセミナーでは、確かな未来に迎える超高齢社会のコミュニティのあり方について学びました。また、賀詞交換会では、行政と会員生協のみなさまが交流を深めながら、新年への決意を新たにしました。(関連記事 P.3)



兵庫県漁業協同組合連合会  
(JF 兵庫漁連) 専務理事  
**山口 徹夫**  
(やまぐち・てつお)

## 歴史

もともと勉強嫌い、本もそれほど読む方でない。歴史小説が好きで寝る間も惜しんで読んだ時期もあるが。最近本を開くこともなく、電車に乗ったときは、認知症予防のためと自分に言い訳をしてスマホのゲームで時間をつぶす事が習慣となっている。

年末にユニセフの会議でお目にかかった方から三冊の本を紹介され、その気になってこの正月にその内から二冊を読んだ。

水野和夫著「資本主義の終焉と歴史の危機」は、歴史を振り返りながら、フロンティアである周辺から蒐集(搾取)する中心というシステムが、周辺の縮小によりいずれ終焉を迎えるという興味深い内容であったし、もう一冊はコープの関係者がバイブルにしているという賀川豊彦著「協同組合の理論と実際」であるが、全編に滔々と流れるキリスト教の隣人愛に戸惑いながらも、賀川豊彦の確固たる信念と、その信念に基づく超人的な活動に改めて驚かされるし、これが昭和二十一年という戦後の混乱の真ただ中というのに、悲惨さは全く感じられず、むしろ協同組合を基礎とする国家の改造と世界平和にまで及び、その発想の豊かさや大きさに圧倒される。

恥ずかしながら、この本の存在さえ

も知らなかったが、さすがに協同組合のバイブルとして愛読されている意味も、おぼろげながら理解できた。

初めて読んだ本であるが、過去に同じような驚きを感じた冊子がある。

現在の全漁連の前身である全国漁業組合連合会が昭和十四年十月に開催した中央講習会において賀川豊彦が講演した内容を記録し漁業者のために刊行した「漁業組合の理論と実際」である。

タイトルも冒頭の協同組合が漁業組合に変化しているだけであるし、内容も漁業を中心に述べられているが、その流れの骨格は共通していることから、賀川豊彦の協同組合に対する想いは普遍のものであった事が窺われる。

戦前に、私たち漁業関係者に熱く語りかけていただいたことに感謝するとともに、戦争という激動の時代を挟んでいたといえども、この時の言葉をほとんどの人が忘れてしまったがゆえに、今日のような困難な状況に陥ったのではないかと残念に思う。

協同組合に身を置く期間が残る僅かになった時に無責任ではあるが、時に歴史を振り返り、原理原則にも真摯に向き合う若い漁業者が育つ漁協への変革を祈る。

既に、その息吹はあるのだから！

## CONTENTS

2. 想点	5. 単協通信 生活協同組合コープこうべ／ 神戸医療生活協同組合
3. 新春トップセミナー・賀詞交換会 報告／ 第11回初級経理学校 開催報告	6. 協同組合のかけ橋
4. 「『兵協連だより』通信員・広報担当者研修会」のご案内／ 兵庫 JCC 第3回「虹の仲間づくりセミナー」報告	7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
	8. 「ひょうご消費者セミナー2015」のご案内／ 県連日誌／編集後記

# 新春トツプセミナー！ 賀詞交換会を開催

1月9日(土)、兵庫県民会館において、11回目の開催となる「新春トツプセミナー・賀詞交換会」を開催。兵庫県から5名の方々をお迎えしました。また、会員生協の役員、共栄火災海上保険株式会社をはじめ、46名の方々にご参加いただき、新年の決意を新たにすることができました。



質疑に聴き入る参加者

新春トツプセミナーでは、本田英一会

長理事の開会挨拶に続き、兵庫県知事井戸敏三様よりご挨拶をいただき、生協への期待を込めた一句を詠まれました。

その後、公益財団法人生協総合研究所 研究員藤井晴夫様による、高齢社会にむけての地域の力を集めた「地域家族」構想の講演のあと、NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長、東京家政大学女性未来研究所所長樋口恵子様を講師に迎え、「2050年超高齢社会のコミュニケーション構想について」と題してご講演いただきました。大家族時代から



講演される 樋口 恵子 理事長



挨拶される兵庫県 井戸 敏三 知事



講演される 藤井 晴夫 研究員

頃からお世話になっている行政の皆様と会員生協・団体の皆様、それぞれに賀詞交換を通じて交流を深めました。

核家族、さらに「おひとりさま時代」へと変わる高齢者を取り巻く家族の変化や支援し合う地域社会などについて、「在宅に施設の安心を、施設に在宅の『自らが主人公である』認識を」「血縁」を「地域（地域）」に変える。血縁がなくても、同じ地域に住む人々で支え合い、助け合う『地域家族』に」と話され、会場の参加者は熱心に聴き入りました。

その後、開催された賀詞交換会には、兵庫県の消費者行政のご担当の方々にもご参加いただきました。本田英一会長理事の挨拶に続き、ご来賓を代表して兵庫県知事公室長平野正幸様のご挨拶と乾杯のご発声で賑やかに会がスタート。日

## 経理を基礎から学び 全員が課程を修了

～「第11回初級経理学校」を開催～



講師 三宅 充氏



講義される  
圓井秀樹氏

会員生協の経理担当者の人材育成をめざして、生協の経理実務を基礎から学ぶことを目的に行われている兵協連主催の経理学校は、今年11回目を迎えました。MMコンサルティング 三宅充氏、コープこうべ 組織管理部 圓井秀樹氏を講師に迎え1月14日(木)～15日(金)、1月19日(火)～21日(木)延べ5日間の講義に、会員生協と関連会社、あわせて11名が受講しました。

講義は、日本生協連発行『入門 生協の経理実務～伝票式会計』のテキストに沿って取引や仕訳の仕組みを理解。最終的には決算書類である貸借対照表・損益計算書の作成ができるようになることが目標です。実際に仕訳伝票を使用しながら、次々と演習問題などを繰り返すすめられました。

最終日には、講師の三宅氏から「第11回初級経理学校修了証」が受講者一人ひとりに手渡されました。

受講者からは「日々の仕事では、なぜこうなるのかなどの理屈を考えずに作業していたところがあった」「講義を聴いているだけでは自分が理解しているところが多かったが、練習問題で気づくことができ、理解を確かめることができた」「経理のこと以外にも、生協人としての心得や人生の教訓も聴けて良かった」などの感想が寄せられ、研修を終えて経理実務の第一歩を刻みました。



熱心に演習問題に取り組みました



全員が課程を修了しました

# 2015年度 『兵協連だより』通信員・広報担当者 研修会

日時 3月11日(金) 13時30分～16時00分

場所 兵庫県民会館 9階 「902」

お申し込みは  
先着順  
20名

テーマ：「思わず手に取る チラシや広報紙誌の作り方」

講師：吉田 清彦 さん（講座・イベントプランナー）

組合員さんに知っていただきたいことを、分かりやすく伝えたい！  
魅力的なタイトルやキャッチコピーの作り方、リード文を上手に書くコツは？  
など、実践に役立つ裏ワザを学びます。

参加対象：会員生協『兵協連だより』通信員および広報担当者

お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会（担当：中尾） TEL. 078-391-8634

## “共に働き、共に捧げる”協同組合の本質を学ぶ 兵庫JCC 第3回「虹の仲間づくりセミナー」 “協同のタネ”を見つけよう

県下の生協・JA・JF・森林組合の4つの協同組合から構成される兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）を中心に、次世代を担う職員同士が顔の見える関係をつくり、くらし、地域、社会のなかで果たすべき役割についてともに考える、第3回虹の仲間づくりセミナーが、1月29日(土)、コープこうべ協同学苑（三木市）で開催され、29名が参加しました。

今期最終回となる今回の始まりは、ポスターセッションに向けての「傾聴」。セミナー生が2人1組になり項目に沿ってお互いをインタビュー。その会話の中からエピソードを引きだし、全員に向けて2分間の他己紹介を実施し、さまざまなエピソードが披露され大いに盛り上がりました。その後、“にじのなかま”と一緒に課題に取り組む6つのプロジェクトチームが立ち上がりました。  
①購買生協と大学生協のコラボによる“食育”  
②協同組合の方向性を“楽しく知ろう”  
③各組合の素材を持ち寄る：協同組合版収穫祭  
④都市～農村・漁村～交流：ツーリズム  
⑤在宅の高齢者、障がい者の方々への協同組合間協同による“食事・配食”

⑥次世代への“バイオマスエネルギー研究”などの各チームに、セミナー生全員が参加しました。「今回のセミナーで、自分の組織を外から見る事ができた。そのことで、“やっぱり良いところだ”と見直すきっかけになった」「ようやく“協同組合で働いている”という意識が湧いてきた」「自分が輝くのは、人を輝かせられたときだと思った」などの感想も寄せられました。「協同組合のミッションと自分の仕事がつながる」をテーマに協同組合の理念を学び、互いの協同組合を知り、学びあい、つながる虹の仲間づくりセミナーは、次年度に向けての一步を踏み出しました。



「自分らしく輝いた瞬間」などを



全員が他己紹介の2分間スピーチヒアリング

【兵庫県協同組合連絡協議会＝兵庫 JCC（Joint Committee of Co-operatives）】

CO-OP（生協）、JA（農協）、JF（漁連）、Jforest（森林組合）など、兵庫県内の協同組合運動相互の連携、そして全国、海外の協同組合運動との連携をはかることを目的に1984年7月7日に設立されました。「人とひとの心がふれあう、暮らしよい兵庫をめざして～協同が息づくまちづくり～」を基本理念に活動しています。

### 阪神・淡路大震災21年

#### 経験していない次世代が 震災を語り合いました

コープこうべの若手の職員がすすめている「震災体験継承プロジェクト」。これは、阪神・淡路大震災後に入所した職員が全体の約7割となり、次の世代となる職員が震災の体験や復旧、復興を引き継いでいきたいと始まったプロジェクトです。その活動のひとつとして、神戸大学付属中等教育学校の4年生（高校1年生）40人を招き、震災の実体験がない世代同士で震災について語り合う機会を企画しました。

まず、職員から「震災直後から開店していたこと」「組合員自身が組織の復興に協力してくれたこと」など、当時のコープこうべの状況や動きを伝えました。その後、「授業中



に大震災が起きたらどう行動するか」「普段からできることは何か」などをテーマに話し合いました。「自分たちにできることは、たくさんあるんだなと思いました。しっかり考えて行動したい」「防災について、見直す機会になりました。災害について学んでいきたい」など、生徒のみなさんから力強い感想が寄せられました。

（通信員 榊原 晶子）

#### 道化師が語る笑いのチカラ

神戸医療生協では、12月5日(土)、こころの健康講座「道化師が語る笑いのチカラ」を開催。今回の公演は、兵庫県消費者トラブル防止事業から助成金をいただき開催されました。道化師（クラウン）の姿で登場した大棟耕介氏（クラウンK）は、出



てくるなり滑稽なパフォーマンスでいきなり会場を笑いの渦に巻き込みました。会場の空気が一気に緩み、

温かい笑いの雰囲気になりました。パフォーマンスが終わると、ホスピタルクラウン活動についてのDVDが上映され、地域の小児病棟を訪問して、子どもたちに笑いを届ける活動が紹介されました。長い入院生活で沈んでいる子どもたちや、疲れた親たちが楽しそうに声を上げて笑い、みるみる元気を取り戻していく姿が印象的でした。



メインの講演ではスーツに着替えた大棟氏が、笑いの大切さや、クラウンという職種がどのようなポジションに位置づけられているかを、国内外でのホスピタルクラウンの活動を通してエネルギーッシュに話していただきました。

客層や会場の雰囲気などをつかみ、笑いやパフォーマンスを交えながら力強く話す姿に、参加者は引き込まれるように講演を聞いていました。

「笑いは伝染する」「あえて自分を落として観客を引き立てること」など、興味深い内容に、参加者アンケートでは、「笑いの本質に触れた思いです。家庭で地域で班会で、笑いを忘れずに！」「クラウンという言葉を初めて聞きました。こういう組織を作って病院を訪問されている姿を見て、本当に素晴らしい活動だと思いました。期待され、期待に応えることが人間を成長させる」という言葉が印象的でした。など、喜びの声が寄せられました。

（通信員 中西 一真）

## JF JF 兵庫漁連のり海藻事業本部

### 今漁期のノリ入札会が始まりました

全国有数の生産量を誇る兵庫県の今漁期のノリ入札会（共販）が始まりました。JF 兵庫漁連は、のり流通センター（加古郡播磨町）で12月12日(土)に臨時共販、18日(金)には第1回共販を開催し、両日とも全国から買い付けに集まった商社やその関係者らで会場は活気に包まれました。



第1回共販では、参加42商社の約110人が、見本のノリを手にとり、次々早朝から多くの方が詰めかけました。品定めをしていく姿が見受けられました。今漁期は、ノリの育成に最適な海水温まで下がるのが遅く、生産開始は約1～2週間遅れて始まりました。また、ノリ刈取時の強風の影響もあって、共販枚数は前年の半数以下の2,318万枚となりました。ただ、海にはノリ生育に必要な栄養が平年より多くあり、成長も概ね順調に進んでいることから今後の生産に期待が持てます。

共販の開始にあたり、JF 兵庫漁連 突々 淳参事は「生産者は活気があり、生産意欲も高く、次回（第2回）には各浜のノリが出揃う予定。今後の兵庫に期待してもらいたい」と挨拶。また、兵庫海苔入札指定商組合 松谷 晃理事長（松谷海苔(株)社長）は「全国的にノリ生産が出遅れているなか、兵庫には潤沢で安定した生産を期待したい」と挨拶されました。

今漁期は、臨時を含み5月までの全15回の共販開催を予定しており、ノリ養殖はこれから繁忙期を迎えます。



## JA JA グループ兵庫

### 第33回兵庫県JA大会 ひょうごの農と食、そして地域のために 新時代を拓くプロジェクトを決議

JA グループ兵庫は、第33回兵庫県 JA 大会を平成27年11月16日(月)、「ひょうごの農と食、そして地域のために」をメイン・テーマに開催し、「JA グループ兵庫の新時代を拓くプロジェクト」を決議しました。

政府による農協改革、TPPをはじめとするグローバル化、新自由主義的な政策に、JA グループがこれからどう対応していくかは、非常に重要な課題です。農業者の所得向上、農業生産の増大、地域社会の活性化、組合員組織のあり方、JA 運営のあり方、総合事業のあり方、連合会のあり方など、非常に困難な課題が山積しています。

そこで、今回の大会では、本県 JA グループの新時代を拓くため、今後3年間に共通して取り組むべき重点事項として、①持続可能な農業の実現、②地域社会への貢献と開かれた JA 運営、③経営管理の高度化と JA 運動を支える人づくり、の3つのプロジェクトを決議しました。

今後、「農」を基軸として、消費者に選ばれる安全で安心な「食」を提供し、「地域」に必要なとされる事業を総合的に展開することで、組合員や地域の人たちから JA グループに対する確固たる支持、信頼を得ることを目指します。

#### 第33回兵庫県 JA 大会決議

#### ひょうごの農と食、そして地域のために

第33回兵庫県JA大会宣言 ～JAグループ兵庫がめざすもの～

本県JAグループをめぐる情勢と環境変化

#### JAグループ兵庫の新時代を拓く3つのプロジェクト

プロジェクト1 持続可能な農業の実現	プロジェクト2 地域社会への貢献と開かれたJA運営	プロジェクト3 経営管理の高度化とJA運動を支える人づくり
-----------------------	------------------------------	----------------------------------

組合員と地域に支持され、信頼されるJAグループ兵庫



最近の消費生活相談事例

## 新聞購読契約の中途解約

### 事例

2～3か月前に1年間の新聞購読を契約し、現在購読しています。必要がなくなったので、解約したいと販売店に申し出たところ、「1年間の契約で、クーリング・オフの期間も過ぎているので解約できない」と言われました。どうしたらいいでしょうか。

### 【アドバイス】

訪問販売で新聞購読を契約した場合には、契約書面を受け取った日を含めて8日以内であれば、クーリング・オフ（無条件解約）ができます。しかし、クーリング・オフ期間を過ぎると、購読期間を定めて新聞購読契約をしている場合、原則として一方的に解約はできません。相談者には、販売店に解約したい事情を話して、購読期間の短縮等について話し合いをするように助言しました。

新聞の購読契約については、全国的に相談が多数寄せられていることから、業界団体が自主ルールとして、平成25年11月に「新聞購読契約に関するガイドライン」を作成しました。販売店は次のような場合は解約に応じるべきとしています。不適切な契約（威迫、不実告知や公正競争規約の上限額を超える景品類の提供等）が行われていたり、考慮すべき事情（購読者の死亡や購読が困難になる病気・入院・転居等）がある場合等です。その他、消費者の都合による場合でも、販売店は話し合いによってお互いに納得できる解決をするものとしています。

また、中途解約を申し出た際に、契約時に受け取った景品についてトラブルになるケースがありますが、新聞の景品の上限額は「景品表示法」及び新聞業界の自主規制である「公正競争規約」で「取引価格の8%または6か月分の購読料の8%のいずれか低い金額」と定められています。例えば、朝夕刊セットの場合、最高でも2千円程度です。解約時のトラブルを避けるために高額な景品は受け取らないようにしましょう。

困ったときや不安に思うことがあるときは、お近くの消費生活相談窓口にご相談ください。

（兵庫県生活科学総合センター）

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

## ヨッシーの窓



兵協連だよりをご覧のみなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

この冬は、暖かい日が多いですね。私の暮らしている地域では、まだ、雪が舞うような日に巡り合っていない。こんなことを言うと、雪国の方に怒られるような気もしますが、寒い冬が恋しくも感じます。（※原稿作成時は、1月12日です。この時は、こんな風に感じていたようです。）

さて、今回は、消費者団体訴訟制度のことをお話をさせていただきます。現在、消費者団体訴訟制度というと、「差止請求」と「被害回復」の2つを指します。「差止請求」は、適格消費者団体が事業者の不当な行為について行うものです。そうです、ひょうご消費者ネットは、適格消費者団体です。「差止請求」ってどんなこと？と思われた方、ぜひ一度、ひょうご消費者ネットのホームページをご覧くださいませ。

今回のお話のメインは「被害回復」です。「被害回復」は、不当な事業者に対して被害回復を請求するものです。これは、新しい制度で、平成28年中の実施が予定されています。そして、「被害回復」は、「特定」適格消費者団体が行えるものとされています。さて、特定適格消費者団体とは、いったい何なのか！？この続きは、次号とさせていただきます。（ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記）

連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C  
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

# MOVE

## 2015年度 ひょうご消費者セミナー

転ばぬ先の消費者団体！ ～被害を防ぐみんなの味方です～

8回目の開催となる、『2015年度 ひょうご消費者セミナー』では、弁護士の角田龍平（すみだりゆうへい）さんをお迎えして、法律家の立場から消費者トラブルの解決法を、わかりやすく、楽しく実例を交えながらお話いただきます。

また、適格消費者団体のこれまでに取り組んだ事例をコントで解説します。

◆と き：**2016年3月7日(月)**

午後1時～3時30分

◆と ころ：**兵庫県民会館 11F パルテホール**

神戸市中央区下山手通4-16-3  
(JR・阪神 元町駅より徒歩10分、地下鉄県庁前すぐ)

◆内 容：**〈コントでわかる差し止め事例〉**

- アド☆コン座
- NPO 法人 消費者支援機構関西 (KC's)
- NPO 法人 ひょうご消費者ネット

〈講演〉

**「実例で学ぶおもしろ法律講座 ～消費者トラブルの手口と対策～」**



弁護士 角田 龍平氏

1976年生まれ。京都府宇治市出身。大阪弁護士会所属。「角田龍平の法律事務所」所長。高校3年で、オール巨人に弟子入りし、若手漫才師の登竜門「今宮戎新人コンクール」で福笑い大賞受賞。漫才の一芸入試で立命館大学法学部に入學後、進路を漫才師から弁護士に変更し、司法試験に合格。弁護士として、刑事事件、民事事件を数多く担当。「サンデージャポン」(TBS)、「かんさい情報ネットten.」(読売テレビ)等メディアにも精力的に出演。

◆参加費：**無料** (定員150人。\*兵庫県生協連は20人募集します。お早目にお申し込みください)

◆託児あり：無料 (1歳半～未就学児) ※保育をご希望の場合は、お申込み時にご連絡ください。

◆申し込み方法：会員生協・団体名、お名前、電話番号をご記入の上、兵庫県生協連まで FAX・電話でお申し込みください。  
(FAX: 078-392-2059 電話: 078-391-8634)

◆締め切り：2月19日(金) \*定員になり次第締め切ります。

◆主 催：生活協同組合コープこうべ、消費者支援機構関西、ひょうご消費者ネット、兵庫県生活協同組合連合会

◆後 援：兵庫県・神戸市



### 県連日誌

- 2月1日(月) 兵協連第5回理事会 (県民会館 1201)
- 2月12日(金) 兵庫JCC協同組合研究交流会 (姫路市)
- 2月17日(水) 兵協連第4回「生活問題研究会」研修 (徳島市)
- 2月19日(金) 兵協連 第3回共済生協部会 (県民会館 ぼたん)
- 2月23日(火)～24日(水) 兵協連 第14回税務・経理講習会 (県民会館 1202、1101)

### 編集後記

日々のなかに春の訪れを感じる今日この頃。今期の「虹の仲間づくりセミナー」(全3回)が終了しました(P4参照)。組織を超えて、みんなで「協同組合」を考えるこのセミナー。お互いの協同組合を理解するだけでなく、自分の組織の良さを改めて発見！という感想をいただき嬉しく思います。

「想点」(P2参照)の息吹のように、毎日の仕事のなかに少しずつ「協同組合」を感じることができれば幸いです。

☆さて、12月号の続き。「英語落語」講座のミニ発表会で高座デビューいたしました。チャカチャカトポンポン♪……出囃子が流れるなか登場して英語小話を披露。フカフカ座布団の高座に上がるまでの2、3段階の階段が転びそうにドキドキでしたが、あつという間に「さげ(オオチ)」に。帰りには高座名の紙(メモクリ)を記念にいただき、次の公演を夢見ている私です。(中尾)